

解 答	1 (C)	2 (D)	3 (C)	4 (B)	5 (B)	6 (A)
	7 (C)	8 (B)	9 (D)	10 (A)	11 (B)	12 (B)
	13 (C)	14 (A)	15 (D)	16 (A)	17 (C)	18 (A)
	19 (C)	20 (C)				

## 1. 「私の姉は足を骨折して、少なくとも2週間は歩くことができないでしょう」

## 【前置詞】パターン

- ▶ 選択肢がすべて前置詞の前置詞パターンです。本問は前置詞本来のもつ意味から文意に合うものを選ばせるタイプです。at least(少なくとも)が挿入されて分かりづらくなっていますが、「( ) two weeks」をひと固まりで考えると「2週間の間」という意味になる(C)forが正解になります。

## 2. 「スコットは自分が大学に合格したと聞いてすぐ、本当に幸福な気持ちになりました」

## 【時制】パターン

- ▶ 選択肢に動詞hearのさまざまな時制が並ぶ時制パターンです。正しい時制を選ばせる問題ですから、問題文の中に時制を決定するヒントを探す方針で解いていきます。
- ▶ 本問では、主節が「he became really happy」と過去時制であることから、when節内も過去時制になると推測できます。  
hearは状態動詞で進行形にしないので(A)was hearing[過去進行形]は不可です。また、分詞構文の形である(C)having heardも不可です。  
残った選択肢のうちの(D)heard[過去時制]が正解になります。(B)has heard[現在完了時制]は文法的に入れることは可能ですが、「大学に合格したと聞いて以来」という意味になり、主節のbecame「～になった」の過去時制とズレが生じてしまいます。

## 3. 「近頃では、店に行くよりもオンラインで買う方がはるかに簡単です」

## 【比較】パターン

- ▶ 空欄のあとに比較級easier、さらにthan(～よりも)があることから本問が比較に関する問題だと推測できます。空欄に入る語は比較級easierを強調する副詞と考えられますので、(C)far(はるかに)が正解になります。

## 4. 「ジョンの成功の大部分は、彼の母親のお陰です」

## 【前置詞】パターン

- ▶ 前置詞パターンの問題です。前置詞パターンでは、まず空欄の前後に特定の前置詞と結びついて熟語を作る語がないかをチェックします。本問では動詞oweの語法に気づけるかがポイントになります。
- ▶ owe A to B「AはBのおかげである」という語法から、(B)toが正解になります。本問ではこの関係を分かりにくくするためにAをmuch of his successという長めの句にしています。

□ owe A to B「AはBのおかげである/A(金など)をB(人)に借りている」

I owe my success to you. (私が成功したのはあなたのおかげです)

They owe a lot of money to his bank.

(彼らは彼の銀行から多額の金を借りている)

## 5. 「アレクシスは他の番組を見るよりも、日本の歴史ドラマを見ることを好みます」

## 【動詞の形】パターン

- ▶ 選択肢に動詞watchが変化したものが並ぶ動詞の形パターンです。このパターンでは問題文中に動詞の形を決定するヒントを探す方針で解いていきます。
- ▶ 直前に述語動詞prefersがありますので、空欄には他動詞preferの目的語が入ると考えられます。(A)watched[過去形]、原形(C)watch[原形]、現在形(D)watches[現在形]は不適で、目的語となる(B)watching[動名詞]が正解になります。

□ **prefer doing A to (doing) B** 「BよりもAする方を好む」

He *prefers watching soccer to playing it.*

(彼はサッカーはプレーするよりも見る方が好きだ)

6. 「リサのピアノ演奏はとても素晴らしかったので、両親は続けるようにと励ました」

【動詞の形】パターン

- ▶ 前問に引き続いて動詞の形パターンです。本問でのポイントはencourage(～を励ます)の語法です。述語動詞encouragedは知覚[使役動詞]ではないので、目的語herのあとに原形不定詞である(B)keepは入りません。
- ▶ encourageは「encourage A to do」で「A(人)を～するように励ます」という語法をもつので、(A)to keepが正解になります。本問でherはto keepの意味上の主語になっています。

□ **encourage A to do** 「A(人)を～するように励ます」

The nurse *encouraged the patient to walk without crutches.*

(看護師は患者に松葉づえを使わないで歩くよう励ました)

7. 「サラはブラジルでとても素晴らしい時を過ごしました。彼女は来年そこへ移住することをほとんど決めたのではないかと思います」

【動詞の形】パターン

- ▶ 本問も動詞の形パターンで、ポイントとなるワードは第2文のhasです。選択肢のうち(A)will decideと(D)decidingは「has+( )」の形をとることができません。(B)to decideを入れた場合は「彼女は来年そこへ移住することを決定しなければならないのではないかと思います」という意味になり第1文の文意に合いません。現在完了形となる(C)decidedを選べば自然な意味となります。

□ **decide to do** 「～することに決める」 (= **make up one's mind to do**)

They *decided to go abroad.* (彼らは外国へ行こうと決心した)

8. 「パーティーでエルシーを見てすぐに、アダムは彼女にプレゼントを持って来るのを忘れたことに気がつきました」

【動詞の形】パターン

- ▶ この問題も動詞の形パターンです。本問でのポイントは空欄直前の前置詞aboutです。forgetは他動詞で使われることが多いのですが、ここでは自動詞の用法です。forget about Aで「Aのことを忘れる」という意味になります。
- ▶ 前置詞とは基本的に名詞の「前に」「置く」「詞(ことば)」です。選択肢の中で前置詞に続けることができる形は動名詞である(B)bringingのみで、これが正解になります。

9. 「私は家族に会うために故郷に帰るつもりです。出発前に、みんなにお土産を買っておきたいです」

【文脈(接続詞)】パターン

- ▶ 選択肢がすべて接続詞の文脈パターンです。各選択肢の訳語を空欄に当てはめる前に、まず文法的視点から選択肢をしぼっておきましょう。
- ▶ 空欄の位置から、等位接続詞である(B)forを入れることはできません。接続詞forは「A, for B (Aである。というのもBだからだ)」というふうに使われます。残りの選択肢はすべて従属接続詞で文法的に空欄に入れることが可能ですので、英文の意味に最もふさわしいものを選ぶと(D)before(～する前に)が正解になります。

10. 「小論文のテーマはあなた方の興味に応じて何を選んでよろしい」

【動詞の形】パターン

- ▶ 本問は動詞dependの変化した形による動詞の形パターンです。形を決定するポイントは空欄を含む部分がコンマで区切られており、主語がないということです。
- ▶ (C)depends(現在形/単数)や(D)depend(現在形/複数)は述語動詞の形なので入れることはできません。分詞として見れば(A)depending(現在分詞)と(B)depended(過去分詞)は入れることができそうですが、文意から「興味に従って」という意味に

なる(A)dependingが正解になります。

□ **depending on A** 「《前置詞として用いて》～によって/～にしたがって」

▶ 慣用的な分詞構文が前置詞的に使われています。

Cooking time will vary *depending on* the thickness of the fish.

(調理時間は魚の厚さによって変わるのでしょ)

11. 「キャシーは生まれてこのかた、腕時計を身につけたことはありません」

【語法(動詞)】パターン

▶ 選択肢には似たような意味の単語が並んでいます。このような場合は語法を問われている可能性を考えましょう。

▶ (A)putはput on Aで「A(服など)を身につける」という1回の動作を表しますが、ここではonがありません。(D)dressは他動詞で「(人)に服を着せる」という意味で、衣服(ここでは腕時計)を目的語にしません。正解は(B>wornで、wearは「(人)が(物)を身につけている、着ている」という状態を表します。

12. 「財布をまた失くしてしまいました。探すのを手伝ってくれませんか」

【他動詞vs自動詞】パターン

▶ 第11問と同様に似たような意味の単語が並ぶパターンです。本問では空欄後に目的語がないので自動詞が入ると推測できます。

▶ 選択肢の中で自動詞の用法をもつものは(B)searchのみで、これが正解になります。searchは他動詞では**探す場所**が目的語になり、**探し求めるもの**はforの目的語になります。

【他動詞】 The police *searched the house*. (警察は家宅搜索をした)

【自動詞】 He *searched for a solution* to this problem.

(彼はこの問題の解決法を探し求めた)

13. 「仕事の最盛期には、ビルは会社で100人を超す従業員の管理を担当していました」

【文脈(名詞)】パターン

▶ 選択肢はすべて「仕事」という意味をもつ単語です。与えられた問題文の意味に応じたニュアンスを持つ単語を選びましょう。

▶ At the peak of his ( ) 「彼の仕事の最盛期には」に最もふさわしい「仕事」は「**職歴、経歴、生涯にわたって続ける仕事**」という意味をもつ(C)careerです。

『仕事・職業』を表す名詞

<input type="checkbox"/> <b>work</b> 「仕事」(不可算名詞)	<input type="checkbox"/> <b>job</b> 「(特定の)仕事」(可算名詞)
<input type="checkbox"/> <b>occupation</b> 「職業」[公式な用語]	<input type="checkbox"/> <b>labor</b> 「(主に肉体的な)労働」
<input type="checkbox"/> <b>business</b> 「商売/事業」	<input type="checkbox"/> <b>task</b> 「(課せられた)仕事/任務」
<input type="checkbox"/> <b>profession</b> 「(知的・専門的な)職業」	<input type="checkbox"/> <b>duties</b> 「(具体的な)職務」
<input type="checkbox"/> <b>assignment</b> 「(割り当てられた)仕事/宿題(=homework)」	
<input type="checkbox"/> <b>career</b> 「(生涯にわたって続ける)職業/仕事;経歴」	
<input type="checkbox"/> <b>trade</b> 「商売/(特に手を使う)職業、(熟練を要する)仕事」	

14. 「マルティナは前回のテニストーナメントで彼女を負かした選手に対して再戦を望みました」

【文脈(名詞)】パターン

▶ 第13問に続いて文脈に応じた名詞を選ぶ問題です。(A)rematchは「再試合」という意味ですが、match(試合)という単語に「**再び**」という意味を表す接頭辞 **re-**がついたものと理解すれば意味も推測できるでしょう。(D)revengeには「(スポーツなどの)雪辱戦」という意味がありますが、不可算名詞なので不定冠詞aはつきません。(B)challenge「挑戦」、(C)competition「競争、競技会」。

15. 「毎年、研究施設で新しい電話が開発されています」

【文脈(動詞)】パターン

▶ 文脈にふさわしい動詞を選ぶ問題です。「新しい電話機が」「研究施設で」ということから『(新製品など)を開発する』という意味をもつ(D)developedが正

解です。

16. 「家を出発するのが遅くなってしまいましたが、私たちはじゅうぶんな時間的余裕をもって駅に着きました」

【文脈(動詞)】パターン

- ▶ 本問も文脈にふさわしい動詞を選ばせる問題です。「出発が遅れた」にも関わらず、駅にはwith plenty of time to ( ) 「多くの時間をもって」着いたのですから、(A)spare「(時間)を割く」を選べば「多くの割くための時間→じゅうぶんな時間的余裕をもって」という意味になります。

17. 「大勢の前でプレゼンを行うのは何時間もの準備が必要です」

【文脈(動詞)】パターン

- ▶ 本問も文脈に適切な動詞を選ばせる語彙の問題です。(A)call(～を呼ぶ)、(B)insist([that節で]～だと主張する)、(C)demand(～を必要とする)、(D)offer(～を提供する)のうち、文意に合うのは(C)demandsです。

18. 「先週、ドナルドは私たちの計画を支援することに同意してくれましたが、今になってそれを拒んでいます。いったい何が彼の態度にこの変化をもたらしたのだろうか」

【文脈(句動詞)】パターン

- ▶ 選択肢に句(群)動詞が並んでいる場合は、文脈に合ったものを選ぶ方針で解きます。選択肢の意味は(A)bring about A「A(事)をもたらす」、(B)make up A「Aを構成する」、(C)take up A「A(任務・地位)につく/A(事)を趣味として始める」、(D)turn out A「A(明かりなど)を消す」という意味で、文の意味に最もふさわしい(A)brought aboutが正解になります。

[例] Poverty brings about many social problems.

(貧困が多くの社会問題をもたらす)

19. 「ケンタは12時40分までに駅に着くことが必要です。そうすれば列車に間に合います」

【語法(形容詞)】パターン

- ▶ 本問はIt is  that...の形式主語構文になっています。選択肢を決定するポイントはthat節中の動詞がbe、すなわち原形になっていることです。本問ではこのような形になる選択肢を選べば良いと推測できます。
- ▶ まず、(A)neededは過去分詞で空欄には入りません。残る3つは形容詞で形式主語構文を作りますが、that節内が原形となるものは「要求・願望」などを表す形容詞である(C)essentialの場合で、本問ではこれが正解になります。

■「要求・願望」などを表す形容詞

that節中に「should+原形」または「原形(仮定法現在)」を用いる形容詞には以下のようなものがあります。

- necessary「必要な」    essential「(絶対に)必要な」    important「重要な」  
 urgent「緊急の」    desirable「望ましい」    vital/crucial「きわめて重要な」

[例] It is important that you be [should be] sincere.

(誠実であることは重要だ)

20. 「この夏、ガソリンの価格が上がることが見込まれています」

【語法(動詞)】【文脈(動詞)】混合パターン

- ▶ 本問では構文に着目します。The price of gasolineが主語の受動態になっているので分かりづらいですが、空欄に入る動詞がSVO to doの語法をもつ動詞であることを見抜けるかがポイントになります。

- ▶ 選択肢のうち(B)~(D)の3つはすべてSVO to doの語法を持っています。この中から文意に最もふさわしい(C)expectedが正解になります。

intend A to do「Aに～させるつもりである」

expect A to do「Aが～するだろうと思う」

permit A to do「Aが～することを許す」